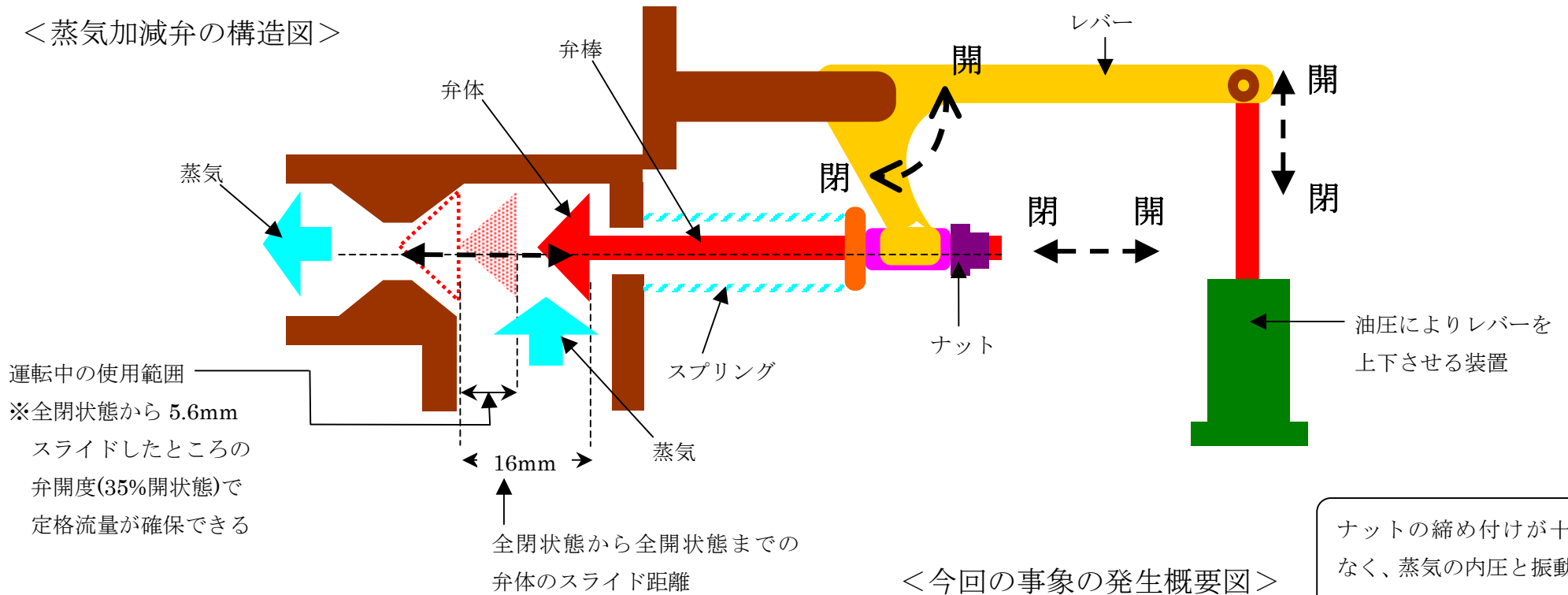
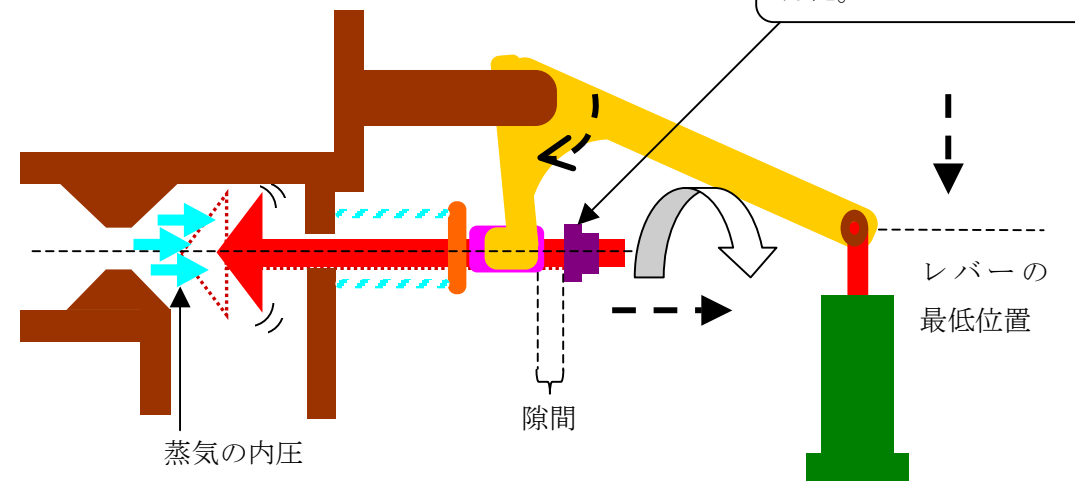


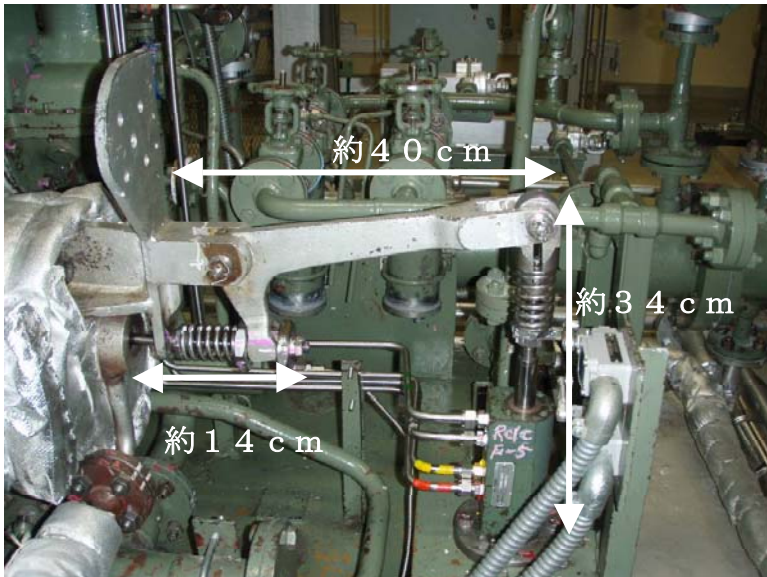
< 蒸気加減弁の構造図 >



< 今回の事象の発生概要図 >



レバーが最低位置まで下がった後も、弁棒の開方向へのスライドが継続したため、これ以上弁体を閉じる方向に制御できず、運転中の使用範囲を超える弁開度となった。



原子炉隔離時冷却系の蒸気加減弁の構造図および事象発生概要図